取付説明書

INAX

洗面化粧台

エスタ

コンポタイプ
●化粧台品番
NSXN-60B5、60E5(N)、60G5(N)
NSXN-75B5、75E5(N)、75G5(N)
NSXN-77B5、77E5(N)、77G5(N)
NSXN-79B5、79E5(N)、79G5(N)

システムタイプ
●カウンター
ボウルー体カウンター:NSX-440SS
●ベースキャビネット
NSXN-604、654、704、754、804、854
●フィラー
NSXF-4B
●エンドパネル
NSXE-015

1. 取付前の注意

●取付けに際しては必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。
※この取付説明書に記載されていない方法で取り付けされ、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
※水栓金具、電気温水器、即湯システムについては、それぞれ付属の取付説明書に従い正しく取り付けてください。
●「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客さまにお渡しください。
●取付業者様は、商品に欠陥を生じさせる可能性を有しているゆえに、取付業者様が欠陥を生じさせた場合は過失責任を負うことを十分にご認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようご協力ください。
●付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

安全のために必ずお守りください

ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。取付前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

用語および記号の説明

⚠警告‥ 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
⚠注意‥ 取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
⚠ ‥‥‥「注意しなさい!」
⃠ ‥‥‥「してはいけません!」
⃠ ‥‥‥「分解してはいけません!」
❗ ‥‥‥「指示通りにしなさい!」

⚠警告

●電気・水道工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
※火災や漏電、漏水を引き起こす恐れがあります。

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガや故障が生じる恐れがあります。
●ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

お願い

●直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因になります。
●取付壁面の不陸が5mm/2mを超える場合は必ず壁を施工しなおしてください。
※不陸があるまま取り付けるとキャビネットがひずむ場合があります。
●洗面器表面は傷付きやすいので次の点について注意して作業してください。
・キャビネットや工具などの固い物を洗面器上に落としたり、乗せてひきずったりしないでください。
・洗面器上に乗らないでください。
※洗面器に傷が付くと補修しても完全に元の状態には戻りません。
●酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して本体をふかないでください。
※変色や変形の恐れがあります。
●壁面工事や建築仕上げ工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項にしたがってお使いください。人体に影響が出たり、使用部材の損害や劣化の原因になります。

⚠注意

●この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合は必ず壁を施工しなおしてください。
※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。
●スライド蝶番の調節後は必ずAねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。
●温水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。
●電源は必ず専用のコンセントからお取りください。また、コード類を束ねたまま使用しないでください。
※発熱の恐れがあります。
●浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐ったり、漏電や感電の恐れがあります。

2. 付属部品

●コンポタイプ（W600、750）

洗面化粧台	扉タイプ
品　番	NSXN- 60B5、60E5（N）、60G5（N） 75B5、75E5（N）、75G5（N）
水栓金具	1個
ポップアップ排水栓セット	1セット
排水トラップ	1個
排水アダプター	1個
排水プレート	1個
固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm）	2本
取扱説明書・取付説明書	各1部

●コンポタイプ（W774、790）

洗面化粧台	扉タイプ
品　番	NSXN- 77B5、77E5（N）、77G5（N） 79B5、79E5（N）、79G5（N）
カウンターセット	1セット
ベースキャビネットセット	1セット

ベースキャビネットセット内容	
ベースキャビネット	1台
固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm）	2本
フィラー	1セット

●システムタイプ

カウンター

品　番	NSX-440SS
水栓金具	1個
ポップアップ排水栓セット	1セット
排水トラップ	1個
排水アダプター	1個
排水プレート	1個
固定用ねじ（トラスφ4.0×16mm）	4本
取扱説明書・取付説明書	各1部

ベースキャビネット

品　番	NSXN-604、654、704 754、804、854
固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm）	2本

フィラー

品　番	NSXF-4B
取付金具セット	2個

エンドパネル

品　番	NSXE-015
固定用ねじ（トラスφ4.0×25mm）	4本

●ミラー及び周辺アイテム

ミラーキャビネット

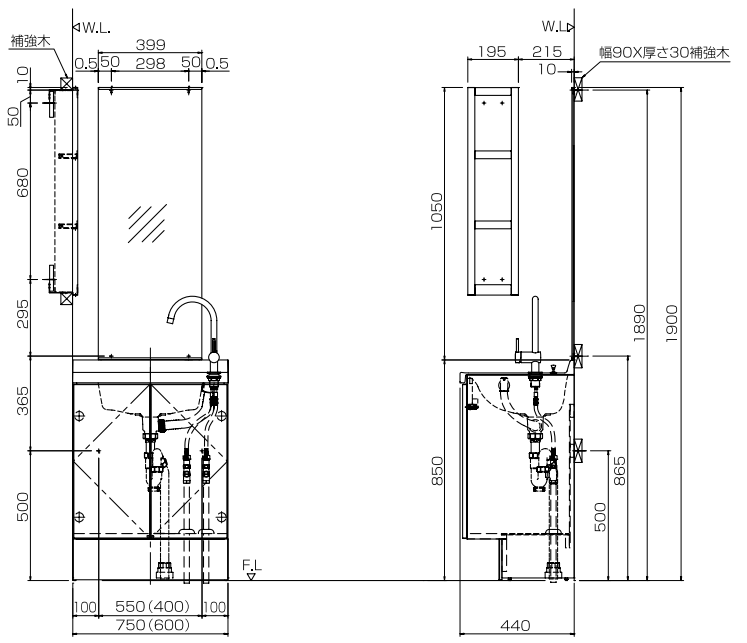
品　番	MNSX-401X	MNSX-1X（600～749）	MNSX-1X（750～900）
鏡	1枚		
ジョイナー固定ねじ（皿φ4.0×30mm）	4本		6本
ジョイナー（上部、下部）	各1個		

ミドルキャビネット

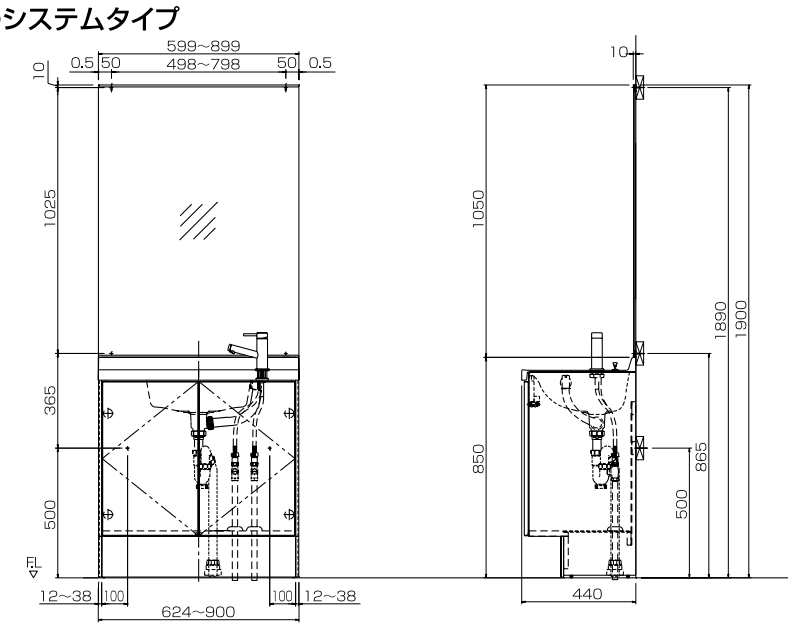
品　番	NSXD-191	KCD-305PL（R）
固定ねじ（皿φ4.0×35mm）	12本（予備2本含む）	—
化粧キャップ用連結ワッシャー	4個	—
化粧キャップ	4個	—
固定ねじ（トラスφ4.0×30mm）	—	4本
棚板	2枚	2枚
棚板受けダボ	8本	—
取付金具	2個	—

3. 寸法図

●コンポタイプ



●システムタイプ



●ミラーキャビネット
MNSX-401X
MNSX-1X

●ミドルキャビネット
NSXD-191
KCD-305PL（R）

4. 取付前の確認

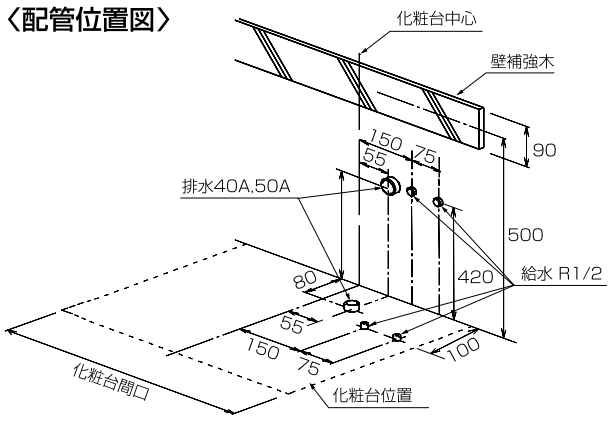
電気温水器・即湯システムについては、それぞれ付属の取付説明書をご覧ください。

1. 給水・給湯の確認
給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は別紙説明書（水栓金具に付属）をご覧ください。

2. 配管工事の確認
給水・給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出してあるか確認してください。

⚠ 注意
●湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

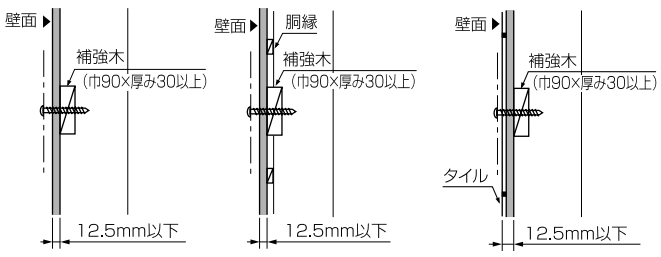
〈配管位置図〉



3. 壁面工事の確認
〔壁材、下地材の確認〕
●キャビネットを取付可能な壁面は下図に示す
（1）乾式壁3種　（2）湿式壁2種　の全5種類のみです。
〔補強木、仕上げ材の厚みの確認〕
●キャビネットの取付けには、乾式壁の場合、補強木（幅90mm×厚み30mm以上）が壁面の指定の位置（寸法図参照）に必ず必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。壁仕上材のみ（補強木なし）の位置にキャビネットを取り付けないでください。
●補強木の柱や、間柱への取付部材（ねじ等）は、キャビネットの固定強度（乾式壁の図を参照）と同等以上になるように種類、数を選定してください。
●乾式壁の場合、補強木手前の仕上材は壁固定ねじを補強木に届かせるため必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。
●湿式壁の場合は、AYボルトをコンクリートに届かせるため、モルタル、タイルの仕上げはトータルの厚みで20mm以下としてください。また、壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部をモルタル詰めにしてください。

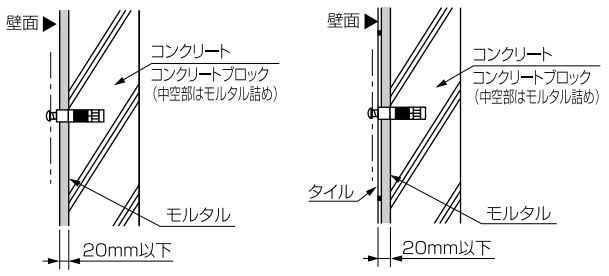
（1）乾式壁

●ボード類直張り　●ボード類胴縁取付け　●タイル仕上げ



（2）湿式壁

●モルタル仕上げ　●タイル仕上げ



※壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部はモルタル詰めしてください。
※AYボルト品番：KB-4X60T（AY）（丸頭＋ボルトφ4×60mm、2本入り）の取付け穴は、穴径7.5mm、穴深さ60mm以上です。

4. 床面の確認
●設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。
●床面は強固でグラつき、たわみが生じないことを確認してください。
※キャビネットがグラついたり、取付精度（納まり）が悪くなる恐れがあります。

〔壁の不陸について〕
●不陸が5mm/2mを超える場合は、必ず壁を施工しなおしてください。（キャビネットを壁に当て、壁とのすき間が5mm以下であることを確認してください。）

5-1. 取付方法〈ベースキャビネットの設置〉

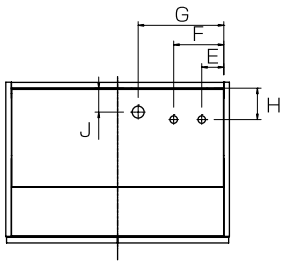
お願い
キャビネットの扉は表面に傷がつきやすいため、取り扱いには十分注意してください。

ワンポイント
●キャビネットを壁に固定する際、扉がじゃまになるときは、扉を外して作業することもできます。
●キャビネットの扉の着脱方法は、後述の「扉の取付方法」「扉の取外し方法」をご覧ください。
●扉を外した場合は、必ず扉を取り付けてください。

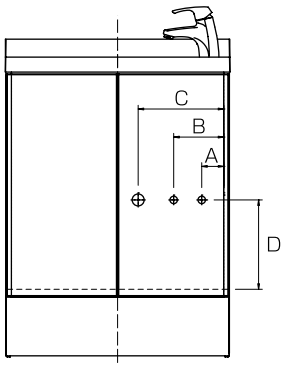
❶ ベースキャビネットに給水管・排水管の穴をあける

※「4.取付前の確認」を参照してください。
給水・給湯管の位置から給水・給湯管を化粧台に引き込みます。

〈穴あけ位置〉



平面図



正面図

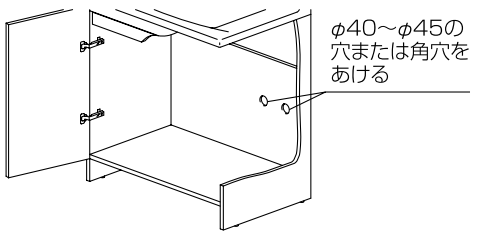
〈背板、側板からの給排水位置〉

間口（mm）	600	650	700
A	59（−）	84（−）	109（−）
B	134	159	184
C	229	254	279
D	239	←	←
E	59（−）	84（−）	109（−）
F	134	159	184
G	229	254	279
H	84	←	←
J	64	←	←

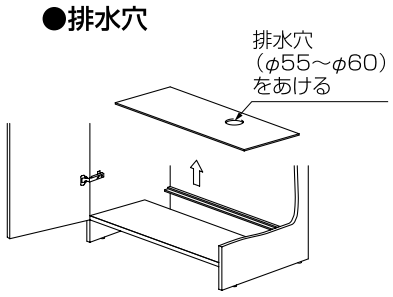
間口（mm）	750	800	850
A	134（−）	159（−）	184（−）
B	209	234	259
C	304	329	354
D	239	←	←
E	134（−）	159（−）	184（−）
F	209	234	259
G	304	329	354
H	84	←	←
J	64	←	←

※即湯システム、電気温水器設置時も位置は同じ
※即湯システム、電気温水器設置時は壁排水はできません。

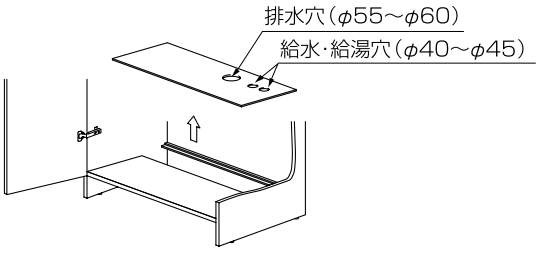
〔壁給水の場合〕
●給水穴



●排水穴

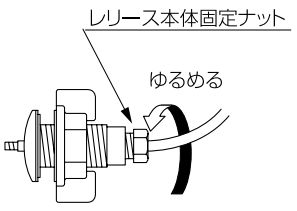


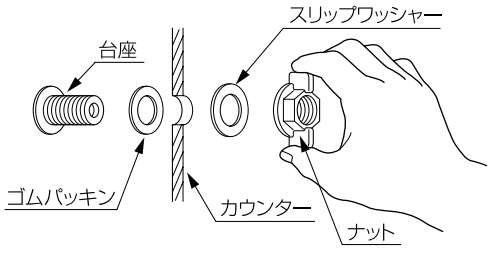
〔床給水の場合〕
●給水穴・排水穴



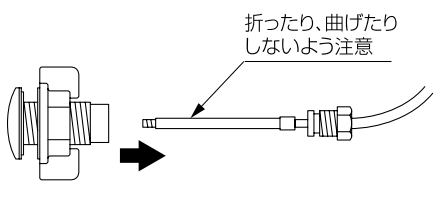
❷ 排水器具・操作つまみを取り付ける

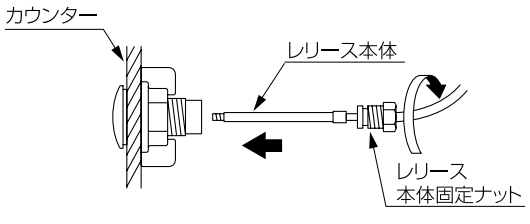
（1）レリースを台座から外します。　（2）カウンターに台座を取り付けます。



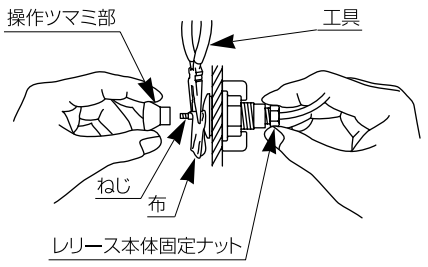


（3）レリース本体を台座に通し、ナットで固定します。





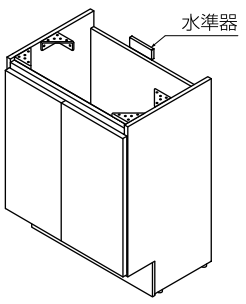
（4）レリースの軸の先端にツマミを取り付けます。（締め付けトルク2～3N･m）
※軸を工具で固定する場合は、軸がキズつかないよう、ウエス等を巻いて保護してください。
※ねじには乾式の接着剤（赤）が塗布してあります。ツマミを取り付けると接着剤が硬化し始めますので、一度締めたボタンは外さないでください。



⚠ 注意
●強く締めすぎないようにしてください。
※排水口部分が破損し、漏水を引きおこす恐れがあります。
●ナット類は手でしっかりと締め付けてください。
※締付けが不十分だと漏水を引きおこす恐れがあります。

③ キャビネットの設置

（1）扉を取り外します。
※取外しの方法は7ページを参照ください。
(2)キャビネットのレイアウトを確認し、仮設置します。
床の水平が出ていない場合は、水準器で確認しながら水平を出してください。
※水平が出ていないと、キャビネットや扉に段差が生じます。

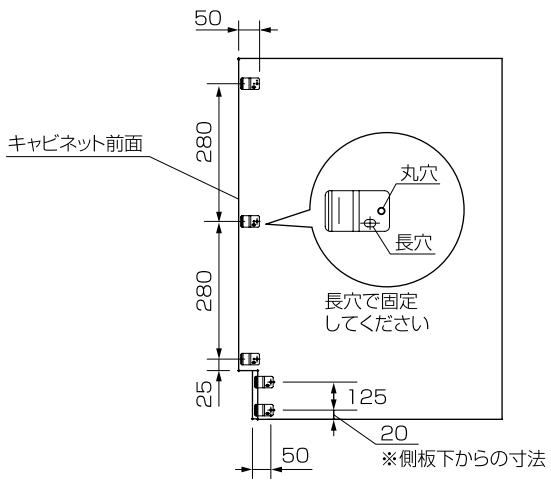


⚠ 注意
●水栓金具・排水器具操作つまみ部は、洗面化粧台を壁に固定する前に取り付けてください。

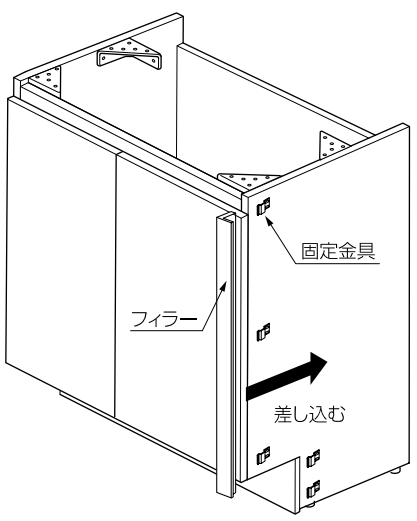
コンポタイプ（W774・790）、システムタイプの場合

4-1 フィラー固定金具の取付け

（1）固定金具をキャビネット側面にねじ固定（トラスφ3.5×12mm）します。



（2）固定金具の位置決めのため、フィラーを固定金具の奥まで差し込みます。



（3）キャビネット前面とフィラーの前面が合うように、固定金具の位置を調節します。
（4）位置が決まったら、固定金具の丸穴でねじ固定（トラスφ3.5×12mm）します。
（5）フィラーをいったん取り外します。

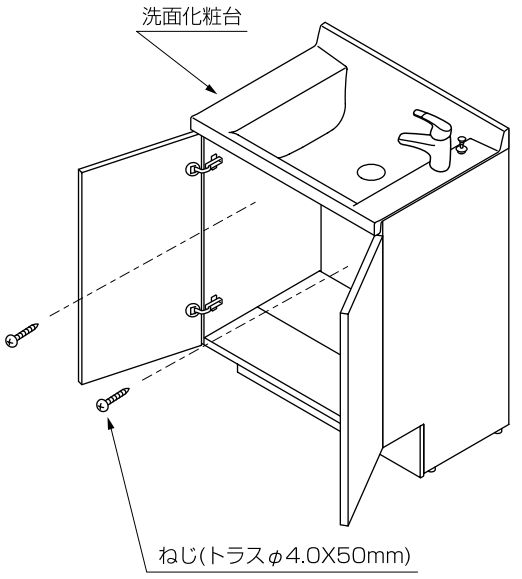
コンポタイプ（W600・750）の場合

4-1 キャビネットの設置

●乾式壁の場合は付属のねじをご使用ください。
洗面化粧台：φ4.0×50mm
●湿式壁の場合は、別途手配のAYボルトKB－4X60T（AY）をご使用ください。

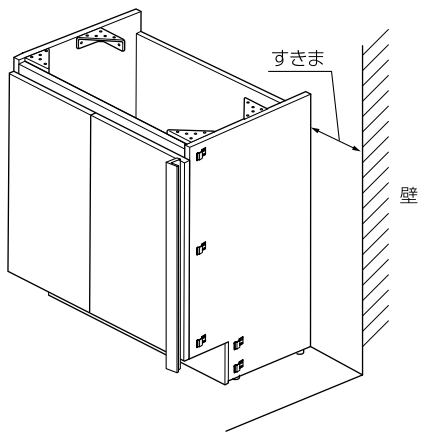
〔乾式壁の場合〕
（1）キャビネットを指定位置に設置し、壁面に当てます。
（2）扉を開き、付属のねじを用いてキャビネット背板のねじを穴から壁面にねじ固定します。

〔湿式壁の場合〕
（1）AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
（2）壁にφ7.5の下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。
※下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
（3）AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
（4）キャビネットを壁面に当て、キャビネット背板のねじ穴から壁面にボルトで固定します。

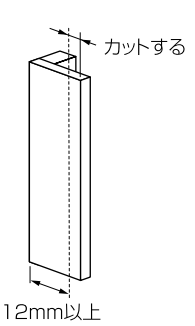


4-2 フィラーの寸法決め

（1）キャビネットを仮固定し、壁面とのすきまを測ります。

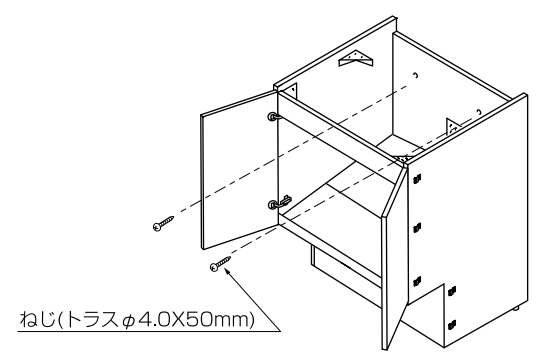


（2）上で測ったすきま寸法に合わせて、カッターナイフやのこぎりでカットします。



4-3 キャビネットの固定

仮設置した各キャビネットの内側より、ねじで壁に固定します。
●乾式壁の場合は付属のねじ（トラスφ4.0×50mm）をご使用ください。
●湿式壁の場合は、別途手配のAYボルトKB－ 60T（AY）をご使用ください。

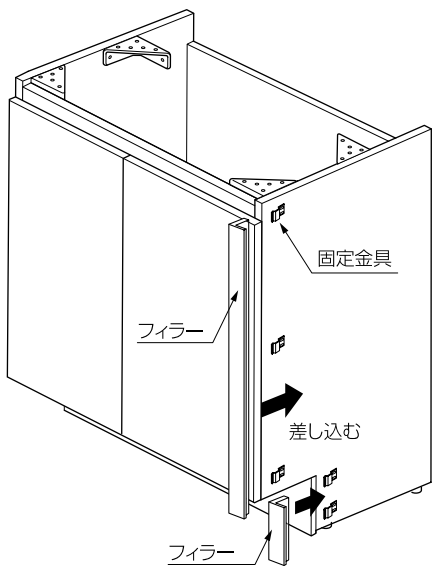


〔乾式壁の場合〕
キャビネットを指定位置に設置し、付属のねじでキャビネット背板のねじ穴から壁面に固定します。

〔湿式壁の場合〕
（1）AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
（2）壁にφ7.5の下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。
※下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
（3）AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
（4）キャビネットを壁面に当て、キャビネット背板のねじ穴から壁面にボルトで固定します。

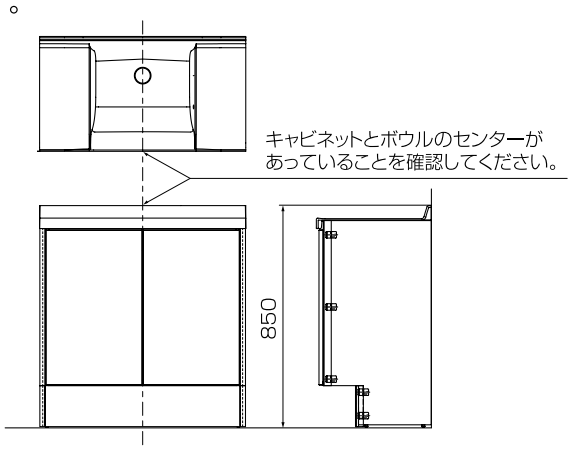
4-4 フィラーの取付け

切断したフィラーを差し込みます。奥までしっかりと入っていることを確認してください。

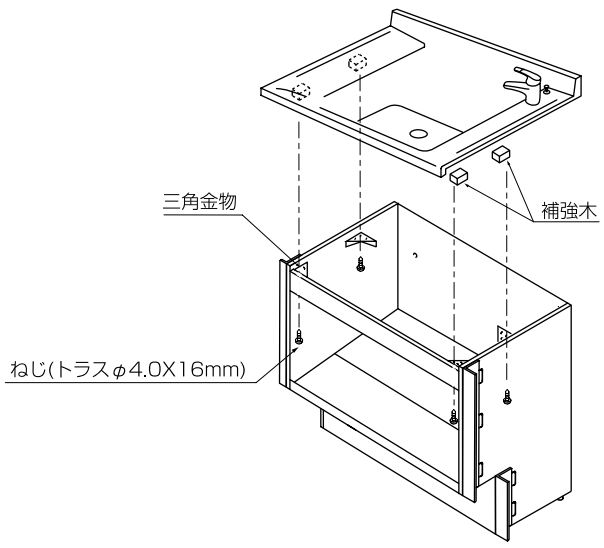


4-5 カウンターとキャビネットの固定

（1）カウンターを設置し、キャビネットとの納まり、カウンター高さおよび水平を確認します。



（2）ベースキャビネットの内側下方より、ねじ（トラスφ4.0×16mm）でカウンター裏の補強木に固定します。



5 水栓金具の取付け

水栓金具の取付けは、水栓金具の施工説明書をご覧下さい。

⚠ 注意
間口600～700の化粧台に水栓を取付ける場合は、先にミラーの取付けを行なってください。水栓取付け後にミラーを取り付けることは出来ません。

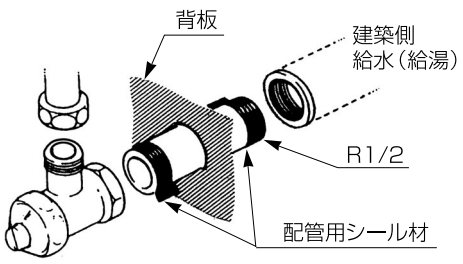
6 電気温水器・ほっとエクスプレスの取付け

電気温水器・ほっとエクスプレスの取付けは、それぞれの機器に同梱されている施工説明書を参照して行ってください。

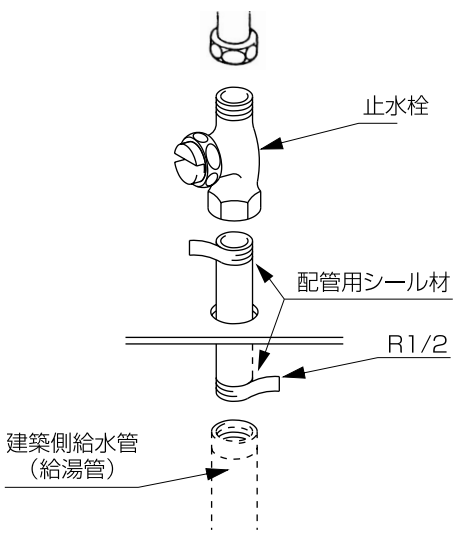
7 止水栓を取り付ける

止水栓はメンテナンス・流量調整のため、必ず取り付けてください。
※止水栓は別途手配です。

〔壁給水の場合〕
※止水栓手配品番
一般地:LF-3K-MB
寒冷地:LF-3K-MB-U



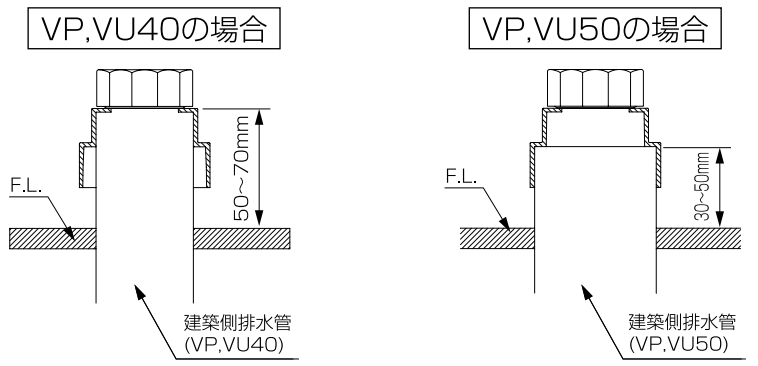
〔床給水の場合〕
※止水栓手配品番
一般地、寒冷地共通:
LF-3SDK（410）-MB2



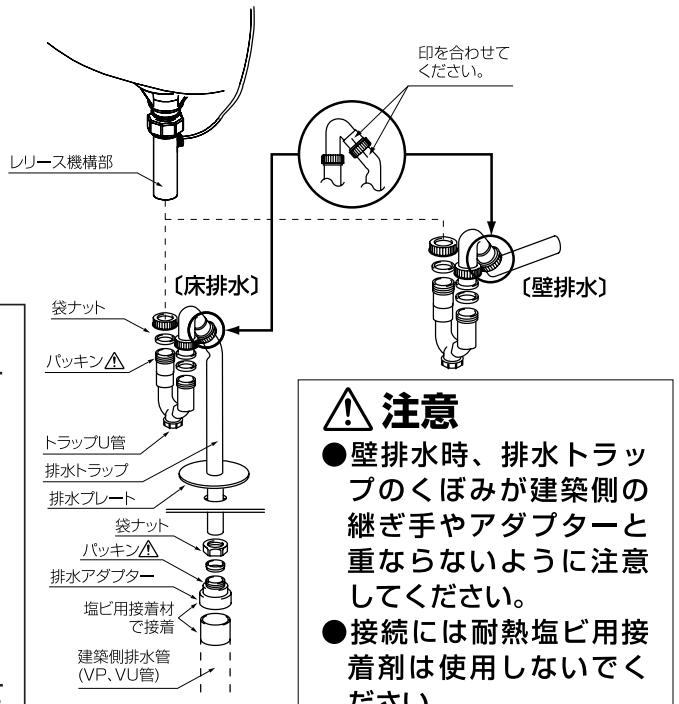
8 排水トラップを取り付ける

●取付け前の確認
●排水レリース機構部はあらかじめ洗面器に取り付けてあります。レリース機構部の袋ナットがゆるんでいる場合は、4～5N·mで締めてください。

●取付け時の確認
●袋ナットは手でしっかりと締め付けてください。
●あらかじめレリース機構部下部に袋ナット、パッキンを通し、それからトラップU管を差込部の最後まで入れてください。
●床排水の場合、建築側排水管に排水アダプターを接着して固定してください。
●配管の接着は接着面全面に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に押し込み接着してください。
※排水アダプターの上部の袋ナットをしっかりと締めてください。排水トラップのガタつきや、臭気もれの原因になります。
●建築側排水管と開口部にすき間がある場合は、シリコンでコーキングしてください。
●壁排水の場合は、市販の排水アダプターをご使用ください。

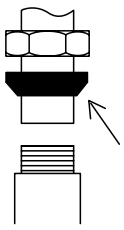


⚠ 警告
●建築側排水管VP．VU管の立上寸法が足りないと接着できなくなります。



⚠ 注意

パッキンの向きに注意してください。



・袋ナットはしっかり締めてください。

※漏水し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

⚠ 注意

●壁排水時、排水トラップのくぼみが建築側の継ぎ手やアダプターと重ならないように注意してください。

●接続には耐熱塩ビ用接着剤は使用しないでください。

※漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

⚠ 注意

●ナット類は手でしっかりと締め付けてください。

※締付けが不十分だと漏水を引きおこす恐れがあります。

●袋ナットは強く締めすぎないようにしてください。

※排水口部分が破損し、漏水を引き起こす恐れがあります。

●排水トラップは、印を合わせて取付けしてください。

※排水能力が悪くなります。

●トラップなどに干渉がないことを確認してください。

※干渉していると、接続部が外れ漏水を引き起こす恐れがあります。

5-2.取付方法＜化粧鏡＞

■化粧鏡の取付け

●乾式壁の場合は付属のねじをご使用ください。

●湿式壁の場合は、AYボルト（KY-4X60T（AY）別途手配）をご使用ください。

❶ 位置決め

3.寸法図の取付位置を参考に現物あわせで取付位置をマークします。

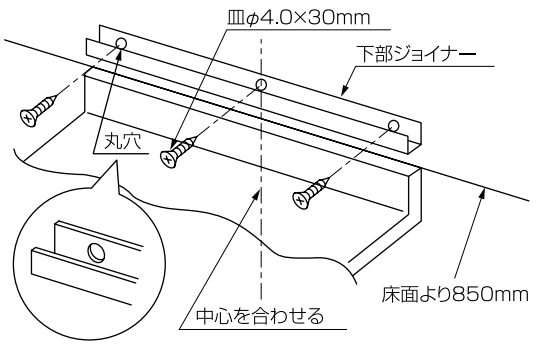
❷ 下部ジョイナー（丸穴）の取付け

（1）洗面化粧台のカウンターバックガード上端が水平であることを確認してください。

※水平でない場合は鏡も水平に設置することができません。
またカウンターバックガード上端が、床面より850mmの高さであることを確認してください。

（2）下部ジョイナーをカウンターバックガード上端にのせ、カウンターの中心と下部ジョイナーの中心を合わせます。

（3）下部ジョイナーを付属ねじ（皿φ4.0×30mm）で水平に壁に固定します。



⚠ 注意

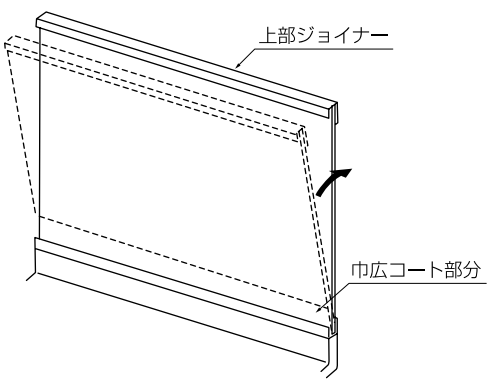
●上部ジョイナーと下部ジョイナーを逆に取り付けないでください。（丸穴付きが下部ジョイナーです。）

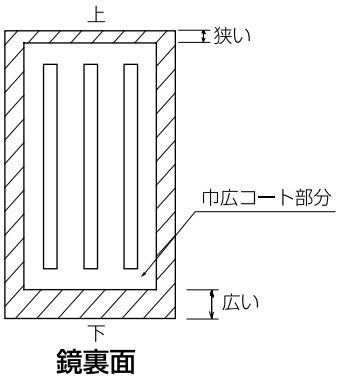
※ジョイナーを逆に使用された場合、鏡が外れてケガをする恐れがあります。

❸ 上部ジョイナー（長穴）および鏡の取付け

（1）鏡を下部ジョイナーにはめ込み、位置決めのために上部ジョイナーを鏡にはめ込みます。

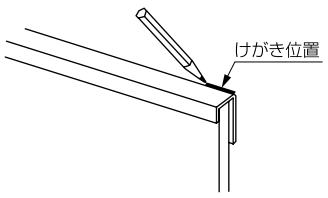
※鏡には上下があります。巾広コート部が下になるように取付けてください。





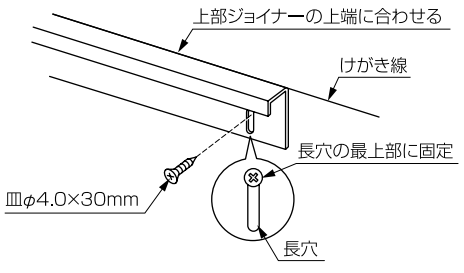
鏡裏面

（2）上部ジョイナー（長穴）上端の位置をけがき、いったん鏡を取り外します。



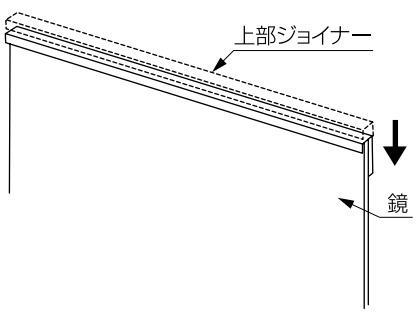
（3）けがき位置に上部ジョイナー（長穴）を合わせて、ジョイナー長穴最上部に付属のねじ（皿φ4.0×30mm）で水平に固定します。

※上部ジョイナー（長穴）は、固定の際、上下にスライドできる状態にしてください。



（4）下部ジョイナーに鏡をはめ込み、上部ジョイナーを下方にスライドさせて鏡を固定します。

※鏡は上下を間違わないように取付してください。

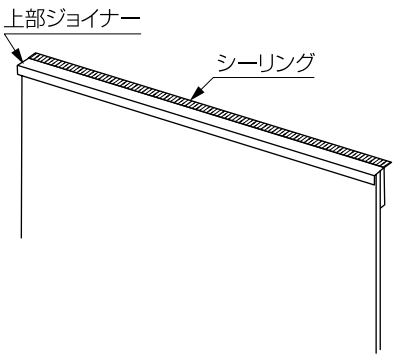


⚠ 注意

●上部ジョイナーはしっかりと下までスライドさせ、鏡を固定してください。

※ジョイナーのスライドが不完全な場合、鏡が外れてケガをする恐れがあります。

（5）上部ジョイナーと壁が接する部分にシール材でシーリングします。



MFTXミラーの取付方法

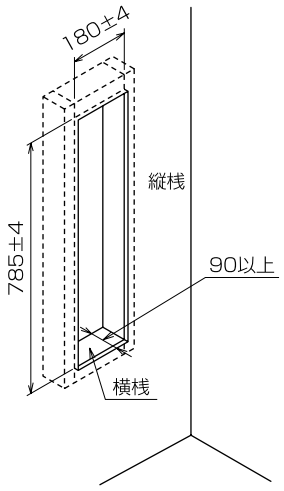
MFTXミラーに付属の取付説明書をご覧ください。

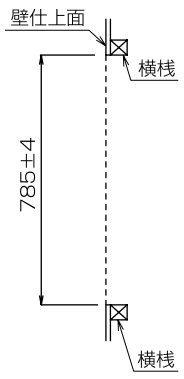
5-3. 取付方法〈埋め込み収納〉

④ 埋め込み収納（NSXD-191）

●取付前の準備

あらかじめ壁に開口部を設けてください。
また、本体固定用の鏡の位置を確認し、固定位置には補強の桟が入っていることを確認してください。

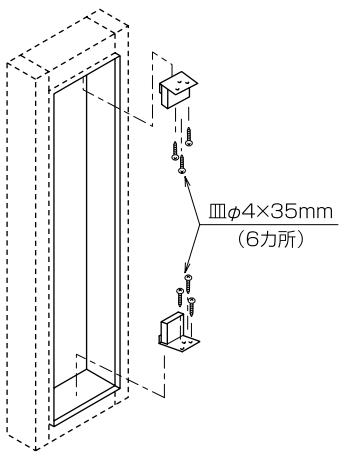


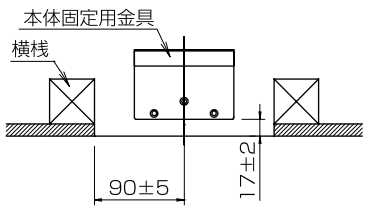


開口部断面図

●取付手順

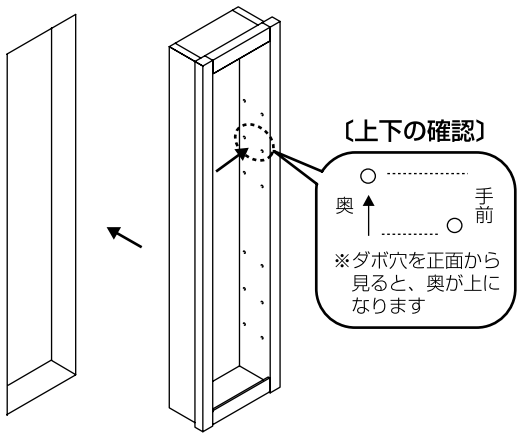
①本体固定用の金具を下記寸法にあわせて固定します。

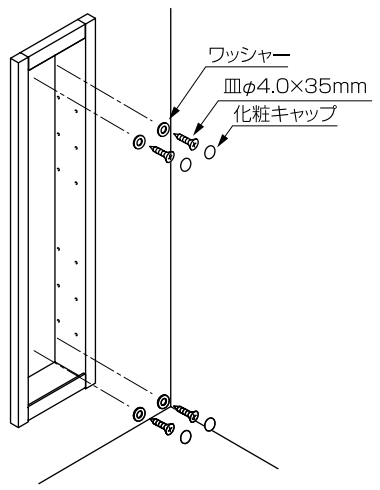




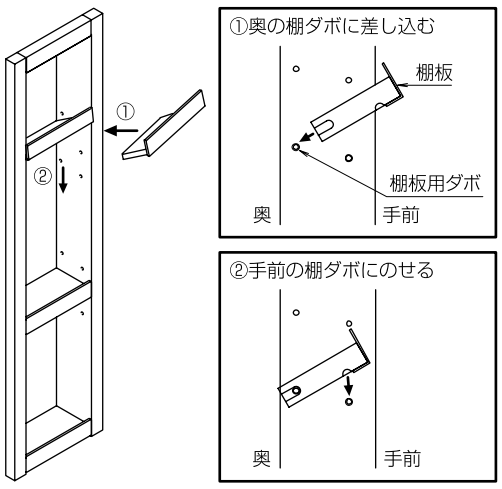
金具取付位置

②本体を付属のねじで背板のねじ穴から固定します。本体には上下がありますので、確認して固定してください。

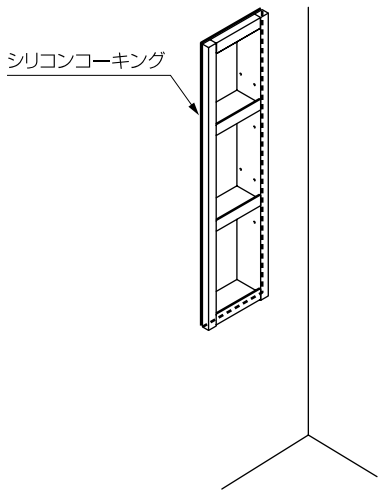




③棚板用ダボをしっかりと差し込み、棚板を取付けます。



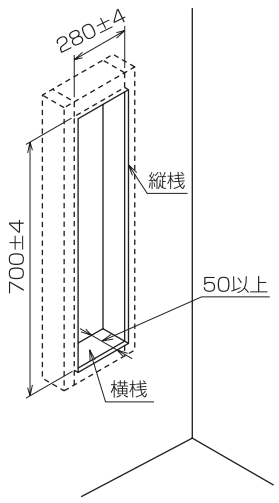
④本体と壁のすきまをシリコンコーキングします。



⑤ 埋め込み収納（KCD-305PL（R））

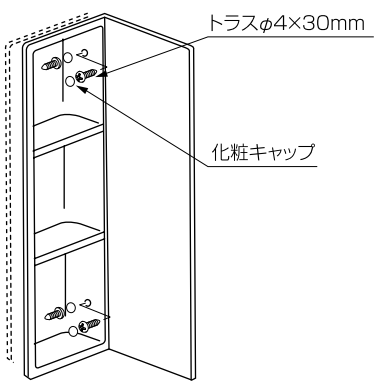
●取付前の準備

あらかじめ壁に開口部を設けてください。
また、ねじの位置を確認し、固定位置には補強の桟が入っていることを確認してください。



●取付手順

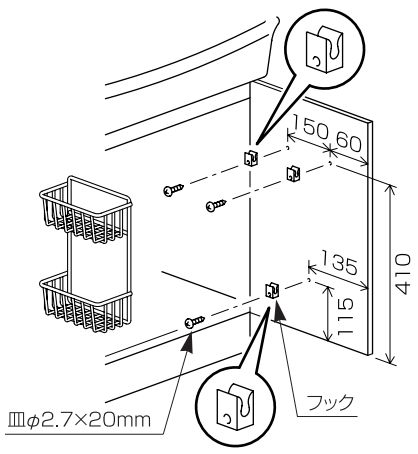
①本体を壁の開口部にはめ込み、左右を側面にねじで固定します。
②化粧キャップをはめます。
※本体取付前に扉の開き勝手（R·L）を確認してください。



5-4.取付方法＜オプション＞

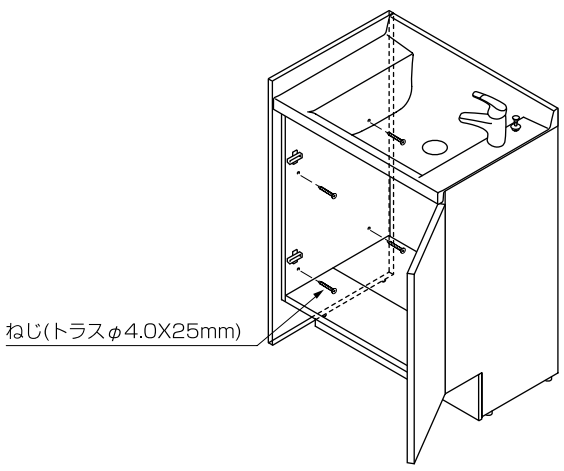
■扉用バスケット（BB-EX5）の取付け

扉用バスケットを取付ける場合は、下図により同梱のフックを固定用ねじにて取付けた後、バスケットを引っ掛けます。



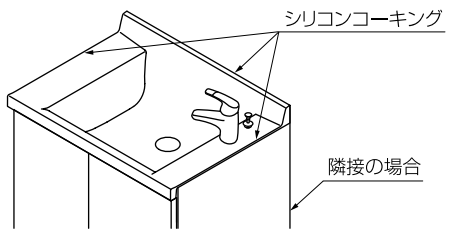
■エンドパネル（NSXE-015）の取付け

①エンドパネルを設置します。
②キャビネットの内側から、蝶番を避けて、付属のねじで固定します。



カウンター周囲シール

カウンターの上左右と壁あるいはキャビネットとの合せ部をシリコンコーキングします。



取付後の確認

■キャビネット本体

○取付ねじが十分に締まっていること
○ゆるみがないこと
○ガタつきがないこと
※ガタつきがある場合はねじ位置をかえて取り付け直してください。
○扉がそろっていること
※そろっていない場合は、後述の「扉の調節」で調節します。

■吐水量、排水量

○洗面器の排水栓を閉じて水を満水にし、吐水させて洗面器から水があふれないよう（オーバーフロー能力の範囲以内）水側、湯側の止水栓の開閉をして流量の調節をします。
不用意に全開した場合の水の飛散を予防するため、全開時に5Ｌ/分程度になるように湯水の止水栓を調節してください。オーバーフローまでの時間は、およそ1分45秒ほどです。
○排水栓を開け、水を一度に排出し、トラップ、排水管の各接続部からの漏水のないことを確認します。

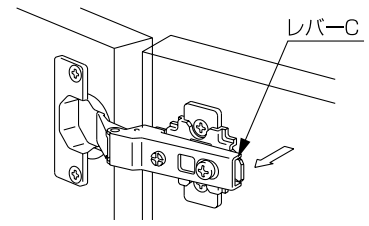
お願い

取付後は洗面器表面を養生して、後の工事等でキズが付かないようにしてください。
※洗面器にキズがつくと、補修しても完全に元の状態には戻りません。

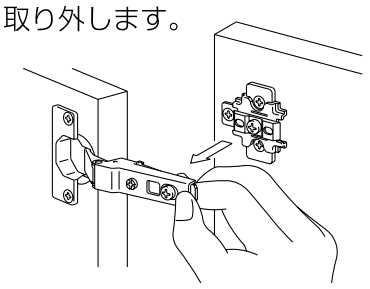
扉の調節

扉の取外し方法

①蝶番のレバーCを矢印の向きに引っ張ります。

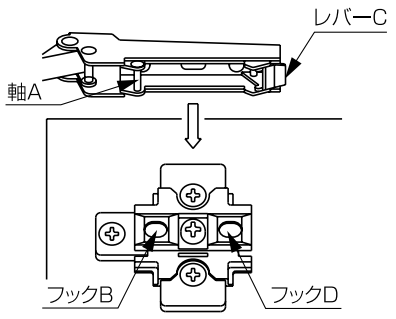


②蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。

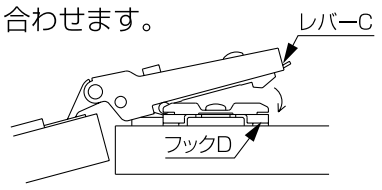


扉の取付方法

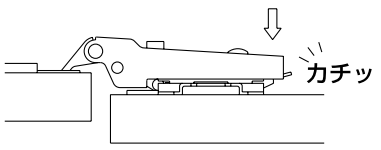
①蝶番の軸Aを、フックBに引っ掛けます。



②蝶番のレバーCを、フックDに合わせます。



③蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。



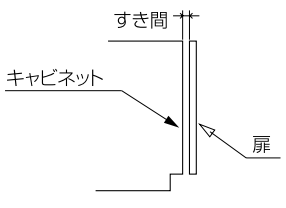
⚠注意

蝶番が確実に結合していることを確認してください。
※結合が不十分ですと扉の落下によりケガをする恐れがあります。

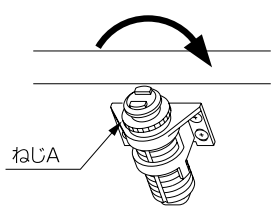
プッシュラッチの調節

洗面化粧台の場合

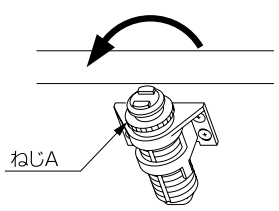
（1）扉の本体のすき間を確認します。
基準値：すき間2mm



●扉のすき間が大きい場合
プッシュラッチのねじAを右に回します。

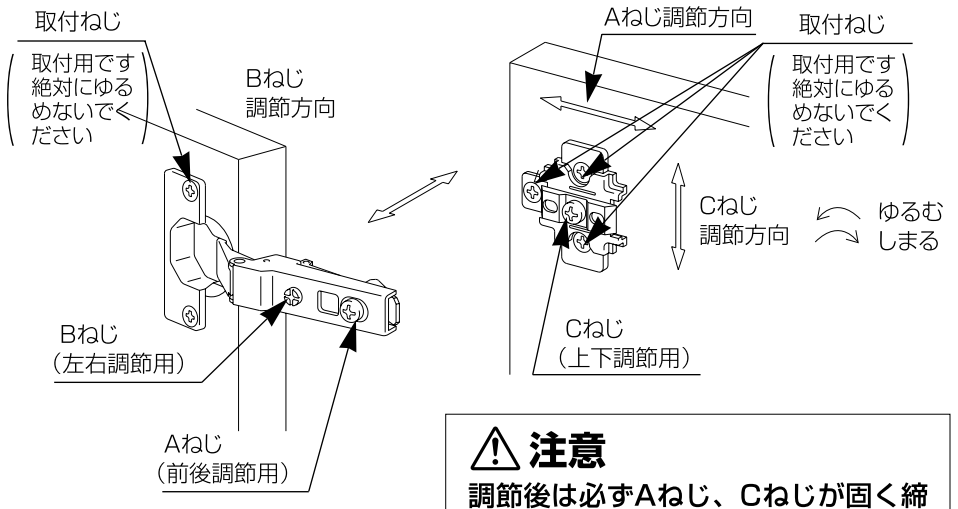


●扉のすき間が小さい場合
プッシュラッチのねじAを左に回します。



（2）扉を開閉しているプッシュラッチが正しく動作するか確認します。

扉の調節　その1



各ねじの調節量
Aねじ……前方向2.0mm、後方向2.0mm
Bねじ……右へ回す→手前へ2.0mm、
左へ回す→後方へ2.0mm
Cねじ……上方向1.5mm、下方向1.5mm

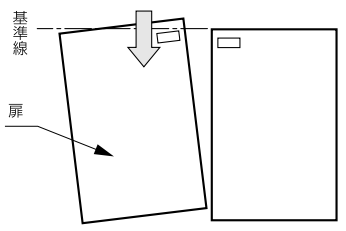
⚠注意

調節後は必ずAねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

扉の調節　その2

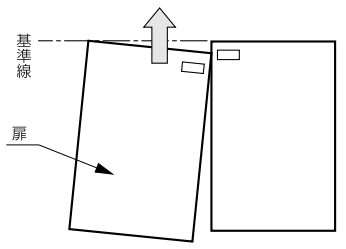
●扉の先端が上がっているとき

①扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



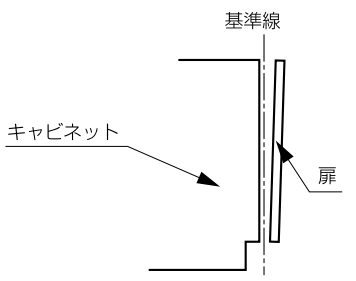
●扉の先端が下がっているとき

①扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



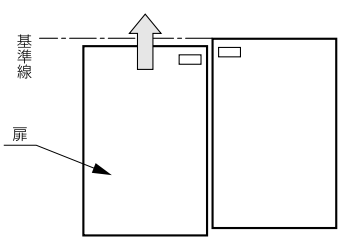
●扉と側板のすき間が上下異なるとき

①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



●扉の位置が上下異なるとき

①扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
②正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



アドバイス

●Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
●2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。